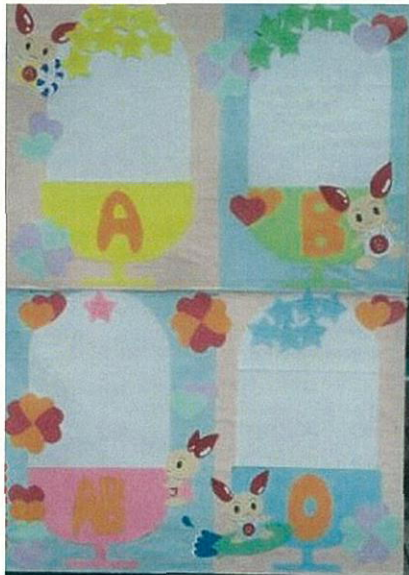


カウンタアップボード



説明ボード



患者さんのメッセージ例



■ 現在白血病の治療を受けている30代の父親です

献血に協力していただいているすべての方々へ

自分は白血病の治療を受けている30代の父親です。
 今まで自分が健康だった頃、献血に対して興味はあったものの勇気が無く、
 実際に足を運ぶことはありませんでした。
 けれど、自分では想像もしていなかった病気になり、治療を受けるようにな
 って献血の大切さを改めて実感し、みなさんの勇気に感謝と感激をしていま
 す。

もし、輸血する血液が無く、自分にもしものことがあった場合、残された子
 供たちはどうなるのでしょうか……。

退院して元気になったら、今度は自分が困った人たちのために何か協力を
 したいと思っています。

献血にご協力いただき本当にありがとう！！

AKさん

2/37



■ 生かされた命大切に

皆さまにお礼を言いたくて筆をとりました。

息子が急性リンパ性白血病と診断されて四年、その闘病生活は壮絶なもので
 した。体内には抗ガン剤が注入され、その副作用で体は衰弱。
 一月経過後、敗血症により高熱、悪寒戦慄、呼吸困難、目も見えにくくな
 り集中治療室へ。血球が減少し赤血球輸血や血小板輸血を続けなければなら
 ない状態でした。

その間、数えきれないほどの血液製剤のお世話になりました。苦しむわが子
 を見るにつれ、輸血を受けるなら副作用の少ない400mL製剤がどんなにあり
 がたかったことか。

90%は駄目だといわれていた命、献血に協力してくださった方や医療スタッ
 フのお陰ですっかり息子は元気になり、今では高校生。ラグビー部で活躍し
 ています。生かされた命を大切にします……。

主婦

4/37